



漁況情報

【4月】三浦：ひじき出荷

平年と同様、収穫後に浜で広げて干したひじきの出荷が行われています。しっかり乾かされたひじきは袋詰めにされ、加工業者さんへ引き取られて行きました。



天日干し



計量して袋詰め



満載です

【4月】柴・金沢・走水・鴨居：アカモク水揚げ好調

4月に入り、東京湾の各浜でアカモクの水揚げが始まりました。昨年に比べて、生育も良く、水揚げ時期も2週間程度早く、水揚げ量も含めて好調のようです。



海面を覆うアカモク



アカモク密集



袋詰めされた商品

【4月下旬】全県：シラス好漁

4月下旬から、全県的にシラスの好漁が続いています。県内のシラス漁業者は、釜揚げやシラス干しを自家加工しており、その規模に合わせて漁獲をしています。好漁のため短時間でその量に達して漁を切り上げられる、とのこと。

これまでは、直売店舗で品切れとなることもありましたが、十分に商品を用意できる状況になりました。

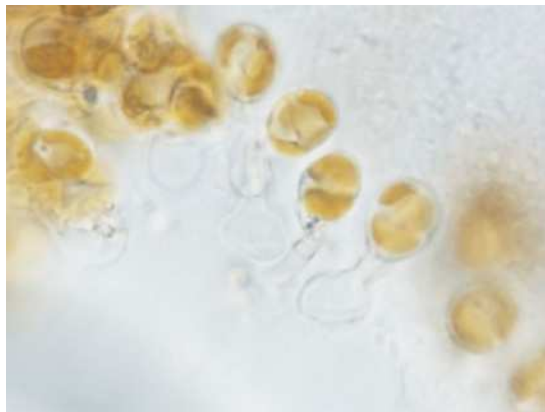
浜 の 話 題

【4月】横須賀・三浦・長井・小坪・江の島片瀬・平塚：ワカメ種付け（種苗生産）

4月に入り、各浜でワカメ養殖漁業者や漁協が、種付けを行いました。メカブの入った容器に種糸と呼ばれる糸を張った枠を浸して、ワカメの遊走子を付着させます。取り出された枠は培養小屋と呼ばれる施設内の種苗育成水槽で夏を越えて管理されます。



種苗用育成水槽



種糸に付着したワカメの配偶体(遊走子が成長)

【4月8日】安浦：サヨリ

4月8日、横須賀市東部漁協所属の漁業者が、サヨリを水揚げしていました。例年よりも水揚げ量は少ないものの、他産地も少ないことから、価格は安定しているようです。サイズに関しては、小型から大型まで平均的に水揚げがあるようでした。



水揚げしたサヨリを選別



水揚げされたサヨリ

【4月9日】岩：マガキ養殖

4月9日、岩漁協の皆木漁業士は、昨年の冬期から養殖を開始したマガキ種苗の測定を行いました。養殖開始(11月27日)当初は約5mmでしたが、平均38.8mmまで成長しており、冬期の間、順調に成長したことが確認できました。



測定作業の様子

【4月14日】神奈川県漁業士会：役員会

4月14日、かながわ県民センターで、漁業士会役員会を開催しました。今年1月の総会で選任された新役員の初顔合わせとなり、藤原漁業士会長（ふじ丸）の挨拶と意気込み、各役員の自己紹介の後、要試験研究課題要望や、今年の主な活動内容について協議しました。



神奈川県漁業士会役員会の様子

【4月14日】岩：アカモク種苗の設置、藻場礁のモニタリング

4月14日、岩漁協海士会は、当センターが生産し、当センター相模湾試験場が中間育成したアカモク種苗計5株を素潜りで設置しました。また、同場が作成した食害防除籠に種苗ロープを入れた藻場礁を昨年12月に設置しており、そのモニタリングを行ったところ、4月12日の高波で食害防除籠が破損しアカモクは消失してしまったものの、カジメは残存していました。カジメが成熟期まで残ることを願い、同会は引き続き経過をモニタリングしていくとのことです。



設置前のアカモク



食害防除籠のアカモク



残存していたカジメ

【4月下旬】長井：養殖ワカメ・畜産研究に協力

4月下旬、長井町漁協所属の漁業者は、県畜産技術センターが取り組む研究「肥育牛からの温室効果ガスの発生を低減する飼養管理技術の開発」に協力し、天日干しの養殖ワカメ約

100kgを供給しました。牛のげっぷに含まれるメタンは、温室効果ガスの一つですが、同センターは海藻を与えることでこれを低減できるか試験しています。

同漁協は、今後は所属の他の漁業者からも養殖海藻を集荷し研究に協力する予定だそうです。海からの二酸化炭素吸収に加え、畜産分野での温室効果ガス削減への海藻養殖の効果に期待します。

【4月22日】小網代：磯の生物観察

4月22日、日本さかな専門学校（本校）の学生さんたちが、みうら漁協小網代地区で漁業者の立会いの下、磯の生物観察をしました。潮の引いた岩場で、海の面白さをあらためて感じていたようでした。漁業者から提供されたムラサキウニは学校での飼育試験に使われるそうです。



時間がたつのを忘れたようです



校舎内の水槽で育てます

【4月23日】小網代：体験漁業（カキ養殖）

4月23日、日本さかな専門学校（本校）の学生さんたちが、みうら漁協小網代地区でカキ養殖の作業体験をしました。養殖を専攻するおよそ30名が、漁業者の指導を受けながら、貝殻や養殖バスケットの汚れを落とす作業に取り組んでいました。



手作業で汚れ落とし



【4月23日】茅ヶ崎市漁協：茅ヶ崎はまぐり部会総会・勉強会

4月23日、茅ヶ崎はまぐり部会の総会と併せて「ハマグリ資源増殖について」の勉強会が開催され、同部会員の漁業者、茅ヶ崎市と関係機関12名が参加しました。稚貝調査やハマグリ分布状況調査結果を踏まえて、普及員が今後の課題について説明し、同部会・市・県が一丸となってハマグリ資源増殖に取り組んで行くことになりました。また、同市の支援を受けて6月6日に予定しているハマグリ種苗放流イベントと、茅ヶ崎漁港マルシェでの地はまぐりのPR直売についても協議しました。



「ハマグリ資源増殖について」の勉強会の様子

【4月24日】上宮田：体験漁業（地びき網）

4月23日、日本さかな専門学校（Nippon Fishery College）の学生さんたちが、三和漁協上宮田地区で地びき網の漁業実習をしました。一年生3クラスが、漁業者の指導を受けながら網を曳き揚げ、獲物は教材として学校へ持ち帰りました。



漁業者の網入れ



えんやこりゃ

お知らせ

【6・7・8月公募】県：中小企業生産性向上促進事業費補助金

漁業者を含めた幅広い業種の方が利用できる神奈川県（神奈川県）の補助金（補助金額は一般枠にて、導入設備費の内中小企業者は1/2、小規模事業者は2/3、上限額500万円）です。対象機器を導入して、現在の事業の効率化を図りたい、或いは、新規事業を始めて売上の増加を目指したい方が活用できます。要件として、付加価値額を3年で4.5%以上増加させることや、給与支給額（個人事業主の方はご自身の給与額）を増加させること等があります。6・7・8月に公募がありますので、活用を希望される方は、公募要領等をご確認の上、補助金の問合せ窓口（事務局）にお問い合わせ下さい。

同補助金ポータルサイト <https://r8seisansei.pref.kanagawa.jp>

同補助金の問合せ窓口（事務局）045-315-3755

【6月6日】茅ヶ崎：「はまぐり祭り」

6月6日9時から、茅ヶ崎漁港マルシェで「はまぐり祭り」を開催します。当日は、茅ヶ崎の地はまぐり直売、はまぐりのお吸い物や酒蒸しの販売があり、はまぐりの種苗放流体験もあります。

ぜひご参加下さい。

茅ヶ崎市漁協Instagram

<https://www.instagram.com/p/DT9vpWsgbqH/>

一番身近な海鮮市場はここ
茅ヶ崎漁港マルシェ

漁港直送 旬魚、海の幸
選りすぐりのキッチンカー
新鮮朝どり 地場野菜
雄濁丸のはまぐり酒蒸し

小南けぶるエボン沖、豊漁の季

はまぐり祭り

6/6 9:00 ~ 11:00
茅ヶ崎漁港施設用地

土

悪天候で中止、もしくは魚介類の
販売内容が変わることもございます

最新情報は「二次元コード」でご確認を

協力：茅ヶ崎市
主催：茅ヶ崎市漁業協同組合
出店：沖石エ門丸、まごうの丸、雄濁丸、ちがさき丸、一俊丸